

# グラインダー Forté BG

## 取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

## 安全上のご注意

(安全に関する重要事項です必ずお読み下さい)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明



### 警告

表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



### 注意

表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。



### 警告

- ・感電防止のため、電源プラグの接地端子(アース)は、必ず接続してください。
- ・製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。  
修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに感電や火災などの原因となります。  
(但し、取扱い説明書に記載されている清掃や調整は、電源プラグを抜いて行えば安全です。)
- ・本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- ・異常が発生した場合には、速やかに、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店、もしくはサービスセンターに連絡をしてください。  
(電源プラグを抜く時は感電しないように注意してください。)
- ・この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源プラグを抜き、販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。  
そのままで使用すると感電や火災などの原因となります。
- ・本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。  
ガス漏れの際には、使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- ・電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



### 注意

- ・電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。  
電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。

- ・製品の点検やお手入れをする時には、必ず電源プラグを抜いて行なってください。  
感電や怪我の原因となります。
- ・電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。  
また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。  
感電や火災や怪我の原因になります。
- ・長時間製品を使用しないときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・電源コード、プラグや製品本体を水や液体に浸さないでください。火事や感電、故障の原因になります。
- ・お子様の手が触れない場所でご使用ください。
- ・部品の取付、取り外し、または清掃をする時には、必ず電源プラグを抜いて行ってください。
- ・付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- ・野外では使用しないでください
- ・ガスコンロ、電熱器やオーブンなどの熱くなる機器の上やそばに置かないでください
- ・電源コードは、温度が高くなる機器から離して引き回してください。
- ・本機を、本来の目的以外には使用しないでください。

## 主な特徴と仕様

このグラインダーは、ドリップコーヒー豆専用の豆挽き機となります。

(ご注意)エスプレッソコーヒー用には、使用できません。

### <主な特徴>

・粉の量を重さ、または時間で設定できます。

重さは 0.1g 単位、時間は 0.1sec 単位

・タッチパネルで簡単に操作が行えます。

・タッチパネルには、プログラム可能な選択スイッチが 3 種類用意されており、スイッチを押すだけでご希望の量の粉が準備されます。

・コーヒーの挽き目調整は、2 種類のスライドノブにより細かい調整が可能です。

### <主な仕様>

機種名	グラインダー Forté BG
寸法(mm)	H360mm×W130mm×D180mm
定格電圧	100V AC 50/60Hz
消費電力	120W
製品重量	約 6 kg
豆ホッパー容量	300g
パウダーストッカー	150g
粉の量設定 (重さまたは時間)	重さ:0g~120g 時間:0sec~60sec
挽き目調整	スライド式:2 種類(マクロ・ミクロ)
推奨最大使用量	20kg/月

### <付属品>

カッター刃取外し治具



カッター刃清掃用ブラシ

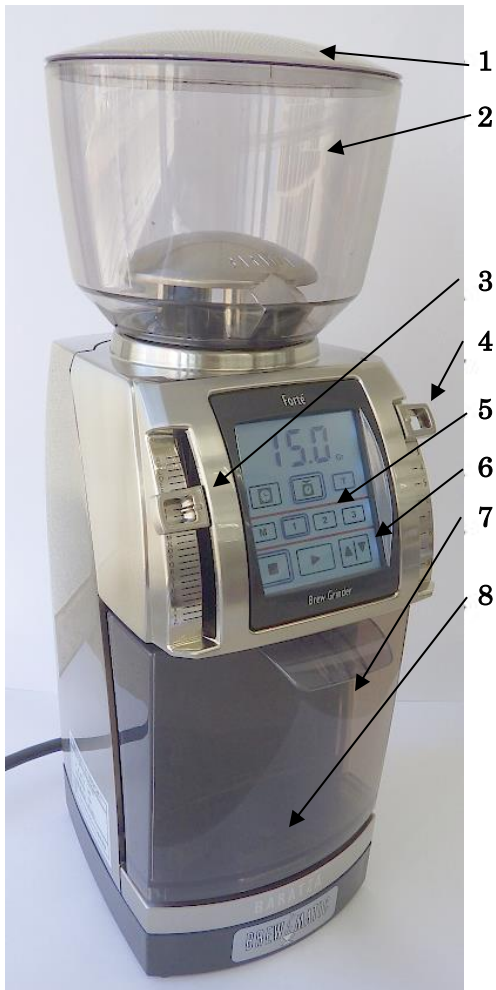


変換プラグ



※カッター刃清掃用ブラシや変換プラグは、予告なく変更される場合があります。

各部の名称

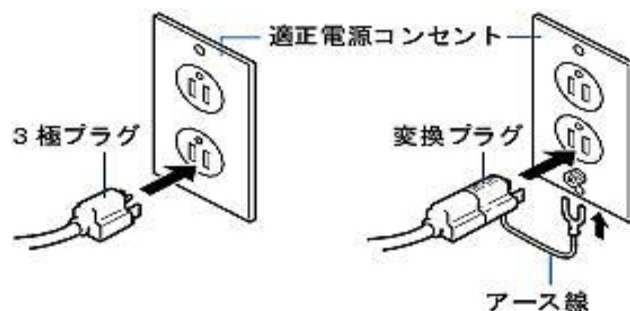


1	豆ホッパー蓋
2	豆ホッパー
3	挽き目調整レバー:ミクロ
4	挽き目調整レバー:マクロ
5	プログラム可能選択スイッチ
6	設定値変更スイッチ
7	パウダーストッカー
8	重量計
9	ホッパーガード

※電源スイッチはありません

## 使用方法

初めてご使用になる時は、豆ホッパーと豆ホッパー蓋、パウダーストッカーを中性洗剤で洗浄し、十分乾燥させてから使用を開始してください。



### <準備>

本器を平らな場所に置いてください。

電源コードを 100V15A 接地付きコンセント(接地タイプ)に差し込みます。

接地付きコンセントが無い場合は、変換プラグを取付け接地(アース)してご使用下さい。

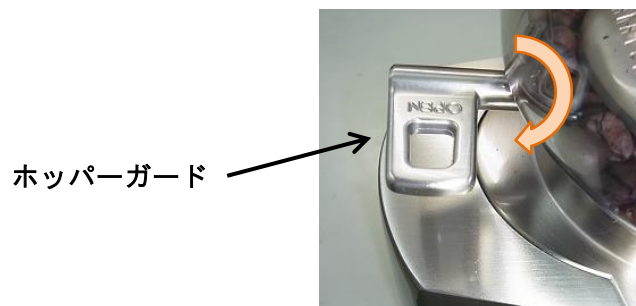
※接地(アース)が取れていない環境では、静電気により微粉がボディに付着する場合があります。

1. 豆ホッパーの爪を本体の溝に合わせて本体の上部に置き、時計回りに止まるところまで回してください。(止まる少し手前で、回転が重くなります)

ⓘ 正しくセットした時、ホッパーガードは真後ろの位置になります。



2. コーヒー豆をホッパーに入れ、蓋を閉めます。
3. ホッパーガードを『OPEN』の位置に回してください。コーヒー豆がグラインダーに入っていきます。




4. パウダーストッカーが重量計の上に乗るように、静かに挿入してください。
5. 挽き目調整レバーで、挽き目の設定をします。



ⓘ 挽く動作をする時は、必ずコーヒー豆を入れてください。入れない場合、刃を痛める場合があります。

#### <重量計測で挽く場合>

1. [  ] → [ T ] と押し、重量表示を 0.0g にしてください。

#### あらかじめ設定されたプリセットのスイッチを使う場合

2. [ 1 ], [ 2 ], [ 3 ] のいずれかのスイッチを押してください。

プリセットされている重量が表示されます。

3. [ ▶ ] を押すと、豆を挽き始めます。

重量表示は、現在の重量です。

※挽いている間に [ ■ ] を押すと、すぐに止まります。

4. 設定された重量になると、自動的に止まります。

3秒間、挽いた豆の実際の重さを表示した後、設定重量の表示に戻ります。

#### 手動操作で挽く場合

2. [ M ] スイッチを押してください。



3. [ ▶ ] を押すと、豆を挽き始めます。

重量表示は、現在の重量です。

4. 希望する重量になりましたら、[ ■ ] を押して停止してください。

※120gを超えたら、自動的に停止します。

### <時間計測で挽く場合>

1. [  ] → [ T ] と押し、重量表示を 0.0g にしてください。
2. [  ] を押して、時間基準にしてください。

### あらかじめ設定されたプリセットのスイッチを使う場合

3. [ 1 ], [ 2 ], [ 3 ] のいずれかのスイッチを押してください。  
プリセットされている時間が表示されます。
4. [ ▶ ] を押すと、豆を挽き始めます。  
時刻表示は残り時間で、カウントダウンします。  
※挽いている間に [ ■ ] を押すと、すぐに止まります。
5. 指定の時間挽いて、表示が0になると、自動的に止まります。  
停止後、設定時刻を表示します。

### 手動操作で挽く場合

3. [ M ] スイッチを押してください。
4. [ ▶ ] を押すと、豆を挽き始めます。  
時間表示は、挽き始めてからの時間です。
5. 希望する時間を挽いたら、[ ■ ] を押して停止してください。  
※60秒を超えたら、自動的に停止します。

### <スリープモード>

- 5分間操作をしないと、スリープモードに入ります。  
スリープモードの表示はコンセントを抜いた状態と同じになり、ディスプレイの表示が消えます。  
タッチパネルのいずれかのスイッチを押すと、スリープモードから復帰し、ディスプレイに表示されます。






## 調整方法



### 1. 挽き目調整方法

※内部に直前に挽いた豆が残っていますので、5g 以上挽いた後、挽き目の確認をしてください。

1. [  ] → [ T ] で重量表示を 0.0g にし、[ M ] を押して、マニュアル操作の状態にします。
2. ミクロのレバーを中央に移動します。
3. マクロのレバーを中央に移動します。
4. [  ] を押すと豆を挽き始めますので、表示が5g 程度になったら[  ] を押して停止します。
5. パウダーストッカーを取り出し、豆の挽き目を確認してください。
6. マクロのレバーを移動して、希望の挽き目に調整してください。

1(上):細かい ←————→ 粗い:(下)10



7. 5g 程度挽いて内部に残っている豆をだしたら、パウダーストッカーの豆を廃棄します。
8. [ T ] を押して重量表示を 0.0g にし、4～7を繰り返して希望の挽き目にしてください。
9. マクロレバーで調整ができず、さらに微調整をしたい場合は、マイクロレバーで調整します。

A(上):細かい ←————→ 粗い:(下)Z



※マイクロレバーA～Zの幅は、マクロレバー1～10の1目盛り分とほぼ同等です。

## 2. プリセットスイッチをプログラムする方法

プリセットスイッチの工場出荷時の設定は下記です。

[  ] [ 1 ] = 10g                      [ 2 ] = 30g                      [ 3 ] = 60g  
[  ]                      [ 1 ] = 10sec                      [ 2 ] = 15sec                      [ 3 ] = 30sec

1. プリセットするスイッチを押してください。

[  ] または [  ] → [ 1 ], [ 2 ], または [ 3 ]

2. [ ▲ ] または [ ▼ ] を押して、希望する重量または時間を表示してください。

押し続けると早送りになります。

3. プリセットする数字スイッチを3秒以上押してください。

表示が点滅したら、プログラム完了です。

※プリセットする数字スイッチを3秒以上押さず、プログラムをしない場合、表示された重量/時間は、他のスイッチに切り替えるまで有効になります。


## 3. 重量計の校正方法


「EEEや out が表示された」「挽いた豆の量がいつもより多い・少ない」時は、重量計の校正が必要です。

1. 200gを0. 1g単位で計量できるはかりを準備し、表示を0gとしてください。

2. はかりにパウダーストッカーを乗せ、さらにパウダーストッカーにコーヒー豆等を入れて合計の重量が200. 0gになるよう調整してください。(パウダーストッカーと豆の合計重量が200g)

3. 本体の電源を抜き、重量計に何も付着していないことを確認してください。

4. [ M ] と [  ] を同時に押しながら、電源プラグを挿入してください。

5. 画面に 1500 と 3000 の間の数字が表示されたら [ M ] と [  ] を放し、再度 [ M ] を押すと、cal の表示が出ます。

※1500～3000 の間の数字が表示されない場合、3. の電源を抜くところから再度行ってください。

再度、1500～3000 の間の数字が表示されない場合は、故障の可能性が有りますので、修理窓口へお問い合わせください。

6. 豆の入った合計200gのパウダーストッカーをゆっくり重量計の上にのせます。

7. しばらくすると、pas の表示が点滅し、200gの表示がでます。(校正の完了)

8. パウダーストッカーを取り出し、電源プラグの抜き差しをおこない、使用を開始してください。

## メンテナンス

### 1. カッター刃の清掃(1か月に1回)


1か月に1回、カッター刃の清掃をしてください。

また、挽いたコーヒー粉の挽き目にばらつきが生じた時や豆詰まりも、カッター刃の清掃で元にもどる場合があります。

※1日平均 400g 以上の豆を挽く場合や細かい挽目で挽く場合は、毎日、あるいは週1回、カッター刃の清掃をすることを勧めます。

#### 1. 内部に残っている豆をすべて出します。

豆ホッパーのホッパーガードを『CLOSED』の位置にし、豆が落ちないようにします。

マクロレバーとミクレバーを一番下(10、Z)に移動し、[  ] → [ M ] → [ ▶ ] を押し、グラインダー内の豆がすべて出てくるまで連続運転をします。

#### 2. 電源コンセントを抜いてください。

#### 3. 豆ホッパーを取り外してください。

ホッパーを反時計回りに止まるところまで回すと、豆ホッパーは上に取り外せます

#### 4. 「カッター刃取外し治具」の溝をカッター刃固定部品の山に合わせるように乗せ、時計回りに回してカッター刃固定部品を取り外してください。



#### 5. 硬めのブラシを使って、刃の掃除をしてください。

❗ 水洗いはしないでください。

#### 6. 内部に豆や粉が残っている場合は、取り除いてください。

#### 7. 掃除が終わったら、カッター刃・カッター刃固定部品をもとに戻し、反時計方向に回して、手で締めてください。

#### 8. これ以上手で締められないところまで回したら、カッター刃取外し治具をセットし、2mm程度、締めてください。

❗ 治具で締める量はわずかで十分です。締めすぎないように注意してください。

## 消耗品について

消耗品として、以下の部品が有ります。

部品名称	備考
豆ホッパー蓋	
豆ホッパー	
パウダーストッカー	
カッター刃	交換時期の目安は、累計で 250Kg 挽いた時です。
カッター刃清掃用ブラシ	

## トラブルシューティング

症状	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 電源コードがコンセントに接続されているか確認してください。</li> <li>② コンセントに電気がきているか確認してください。</li> <li>③ 電源側のブレーカーが作動していないか確認してください。</li> </ul>
コーヒー豆が挽かれない	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ホッパーに豆が入っているか確認してください。</li> <li>② ホッパーガードが『OPEN』の位置か確認してください。</li> <li>③ グライNDER内部にコーヒー豆が詰まっていないか確認し、詰まっていたら除去してください。</li> </ul>
コーヒー粉の粒度が一定しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>① コーヒー豆が古い場合は新鮮なコーヒー豆と入れ替えてください</li> <li>② グライNDERの刃の清掃をしてください。</li> <li>③ 挽き目の調整を行ってください。</li> <li>④ グライNDERの刃が摩耗していないか確認してください。</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">※豆の種類やロースト状態によっては、目安の時期より早く摩耗が進む場合があります。</p>
コーヒー豆を挽いている途中でモーターが止まってしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 豆ホッパーを時計回りに止まる場所まで回しているかどうか、確認してください。(ホッパーガードは真後ろになります)</li> <li>② 120g/60秒を超えて運転していないか、確認してください。</li> <li>③ ホッパーに豆が入っているか確認してください。</li> <li>④ グライNDER内部に異物が詰まっていないか確認してください。詰まっている場合は除去して下さい。</li> </ul>

※グライNDERの刃がロック(豆を挽かない)した状態で長い時間通電した場合、内部の部品が熱を持ち、火傷する恐れや機器の損傷となりますので、直ちに電源プラグを抜いて下さい。

## 保障とアフターサービスについて

### 保障とアフターサービス

#### 1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取り下さい。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管して下さい。

#### 2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、症状が直らない時は、電源プラグを抜いてから販売店または当社サービスセンターに修理についてご相談下さい。

その際、修理品の送付先をご案内致します。ご送付時には、宅配便のように送付控えが残る方法でご送付ください。郵送は固くお断りいたします。また、送料は、送付元負担とさせていただきます。

##### ●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出下さい。

##### ●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談下さい。

#### 3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せ下さい。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡下さい。

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| ●お名前  | ●商品名                |
| ●ご住所  | ●製造番号               |
| ●電話番号 | ●故障の症状、状況(出来るだけ詳しく) |

修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社 サービスセンター

横浜:(045)947-0804 大阪:(06)6531-1333

受付時間 : 365日 24時間 ※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

#### ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行って下さい。

清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒーマシン粉出口や容器の洗浄をそれぞれ適切に行って下さい。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄を行って下さい。

使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに当社へご連絡下さい。

## グラインダー 保証書

型 名	バラツツア社製 グラインダーForté BG
製 品 番 号	
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より1年間
お 買 上 げ 日	年 月 日
お 客 様 お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

### 無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせて頂く事をお約束するものです。

- 1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保証期間内に万一故障をした場合には故障個所の無料修理を行います。
- 2 保証期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくは当社サービスセンターに連絡して下さい。
- 3 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 使用上の誤り、取扱説明書に記載してある通りの使用をしなかった場合。
- (2) 取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠った事が原因で発生した故障及び損傷。
- (3) 販売店以外で修理、改造などを行ったことが原因で発生した故障及び損傷。
- (4) 消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。
- (5) 火災・水害・地震などの天災地変・塩害・公害・異常電圧・過電流など外部要因による故障及び損傷。
- (6) 落下・転倒・水漏れ・打撲・本体内部の基盤が破損・変形したことなどによる故障及び損傷。
- (7) 車両などに搭載して使用をしたり移動後に発生した故障及び損傷。
- (8) 保証書の提示が無い場合及び保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
- (9) 保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。

- 4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

- 5 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

※この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の

法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合には当社にお問い合わせ下さい。

※保証期間は、お買い上げの日より1年間を過ぎた場合は無効となります。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承下さい。

※本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店

**ブルーマチックジャパン株式会社**

神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪営業所：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

300318